

大阪府立千里青雲高等学校 第1回学校協議会

日 時 平成 28 年 5 月 13 日 (金) 14:00～16:30
出席者 委員長 (学識経験者)、学識経験者 (高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局 (校長、教頭、首席、教育グループ長、進路指導グループ長、
生徒指導グループ長)、各学年主任

- 内 容
- 1 授業見学
 - 2 校長挨拶
 - 3 委員紹介及び委員長選出
 - 4 委員長挨拶
 - 5 学校報告 (学校経営計画、各学年、教育グループ、教務グループ、
進路指導グループ、生徒指導グループ、共生推進教室、広報)
*学校協議会への意見書の提出
平成 28 年 2 月 3 日より平成 28 年 5 月 12 日まで なし
 - 6 意見交換
 - 7 校長謝辞
 - 8 諸連絡
-

<授業見学感想>

- ・生徒が自主的・自発的に勉強できるように、先生が工夫をしている。
- ・家庭で普段話している学校の様子と同じだったので安心した。
- ・お互いの意見を出し合うワークショップ形式の授業が多かった。高校生の力はすごい。
- ・授業中や廊下で会う生徒の様子がいきいきとしており、いい学校づくりがされていると感じた。
- ・先生からの品位ある呼びかけによって、生徒も大事にされていると感じるだろう。
- ・先生が名札を着用していることがすばらしい。
- ・グループ学習では、意見交換の人数や男女バランス、意見の述べ方など、さまざまな工夫によって、さらに学びが深まることを期待している。

<意見交換>

- ・遅刻の減少はとても良いこと。5分前行動の指導などからこのような結果につながっているのでは。時間の使い方を学ぶことは、社会人になってからも活かせる。
- ・家庭で聞くのはクラブの話ばかりで、勉強合宿を実施していることは知らなかった。
- ・部活動でもどんどんいい成績を残してほしい。ダンス部は全国大会に出場している。

- ・地域教育の拠点となる開かれた学校づくりが大切。学校の施設を利用したいと思う地域の人も多いのではないか。地域の側も、高校生ボランティアを受け入れるだけでは不十分。お互いが理念をしっかりと持ち、連携を図るべきだ。

（校長より）学校と地域がお互いのニーズをはっきりさせた上で関係を作っていきたい。

- ・特活グループの部活動ニュースが掲示されていて、そういうことが活性化につながっている。
- ・今年度の取組の学力保障については、例えば授業見学2回というように、提案をはっきり出すのがよい。委員として何らかのアドバイスをしていきたい。アクティブ・ラーニングも続けてほしい。

- ・3年生への進路指導の方針は？

（進路グループ長より）多様な進路に応じた指導が必要。生徒の希望が叶えられるよう、講習を行ったり、データの分析を行ったりしている。

（学年主任より）本校の生徒は「伸びしろ」が大きい。引っ張り上げるというよりも、自らが目標を定めて、やる気を起こさせる方向で指導していきたい。

- ・生徒が最後まで粘り強く取り組むのは良い傾向。
- ・将来構想委員会について詳しく知りたい。

（校長より）生徒にとって望ましいカリキュラム編成の方向性や、SS道場の在り方について主体的に意見交換をしてもらっている。SS道場は保護者の期待も大きいですが、教員のボランティアに頼っているので、どのように継続していくかについても議論を行っているところ。